



心ひとつに
地域とつながれ
フレンドリー & ハートフル

みんなの議会



原町日赤 Haramach Red Brass

第 82 号

2026.8.1

今号の Topics

新議員を迎えて議会開催

・・・P 3

坂上小学校体育館新設を見直し

・・・P 4



No.10 がんばっている人 応援し隊

左から
金子 美智 さん
大須賀結香 さん
笹本 肇 先生
中島 美江 さん
中島 早稀 さん

地域とのつながり 職員のつながり

新型コロナ収束後、2024年に吾妻郡の中核病院である原町赤十字病院でブラスバンドが誕生しました。コロナ流行により途切れた地域とのつながりや、職員同士のつながりを取り戻そうという呼びかけで、音楽仲間が集まり、原町日赤 Haramachi Red Brass（ハラマチ レッドブラス）は活動を開始しました。病院で年2回の演奏のほか、町内外の福祉施設や地域のイベントなど、各所に楽しいブラスバンドの生演奏を届けています。グループ名は赤十字の英名 Red Cross と吹奏楽の Brass band を掛けて Haramachi Red Brass と命名されました。今回、発起人の金子さんと中心メンバーの皆さんにお話を伺いました。

問 グループ発足の経緯について教えてください。

答 医療が地域とつながっているようで実は決してそうでないと感じることもありました。音楽で地域とのつながりを深めたり、町おこしの役にも立てれば良いと思い、周囲に声をかけてグループを発足しました。創設当初は10名程でスタート。現在は17名のメンバーがいます。メンバーは病院の医師、看護師、管理栄養士、事務職などのほか、地域の福祉関係者や門前薬局の事務の方も参加しています。わざわざ楽器を新調して参加してくれたメンバーもいます。（笑）

問 活動にあたり苦勞することはありますか？

答 メンバーの勤務シフトが異なるので都合を合わせるのは苦勞しています。練習日はSNSを活用してスケジュール調整しますが、なかなか全員が揃うことがなく、本番で演奏できるのは個人練習の賜物です。それと合唱や吹奏楽の経験者がいたり、指揮担当の笹本先生（医師）はアニメなどから情報収集して勉強してくださったり、皆の協力で成り立っています。

問 医療機関におけるこのような活動のメリットは？

答 普段、職場内で話す機会のない人とも仲間になれるし、絆ができることで離職防止にもなれば良いと思います。それに「日赤には吹奏楽の活動レッドブラスがあるから就職するなら原町日赤に」とい

♪みんなで奏でる生演奏♪



う人が現れてくれたら嬉しいです。さらに、メンバーが病院や施設という現場で働きながら音楽でも地域貢献している姿を見て、そのお子さんたちが誇りに思ってくれたらいいな…と。

問 このグループ活動で大切にしていることは？

答 <指揮担当：笹本先生談>

とにかく楽しく演奏すること。観客に喜んでもらうこと。フレンドリー＆ハートフル。そして、大げさに指揮をすること。（笑）（※笹本先生はマツケンサンバの衣装で踊ることもあるとか…）

問 今後の目標や挑戦したいことはありますか？

答 来年、日本赤十字社は創立150周年で、原町日赤は75周年を迎えます。そこで、「いちにちブラバンデー」を計画中です。小さなお子さんから楽器を演奏する小中高生などの愛好家と一緒に集まり午前に練習し、午後には全員で一斉にアンサンブル！という企画です。

問 町民のみなさんへメッセージをどうぞ。

答 病院は怖いことばかりでなく、こんな楽しいことをやっている人たちもいます。（笑）「地域とつながる原町日赤」をモットーに、地域に根ざした病院でありたいと思っています。12月には病院でクリスマスコンサートを予定しています。

みなさん、ぜひ観に来てください！

皆さんの声を
議会だより

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp

4名の新議員を迎え新体制で議会開催



令和8年第2回定例会が、議員補欠選挙で選ばれた4人の新議員を迎え、6月3日から12日までの10日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、選挙管理委員会委員および補充員の選挙や町長から提案された条例改正、補正予算などの議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

町政一般質問には4人が登壇し、町政をたどしました。

（9ページから13ページをご覧ください）

人事案件・選挙

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、新たに古瀬公江さん（箱島）を教育委員会委員に任命することに同意しました。

任期は令和8年6月21日から令和12年6月20日までの4年間です。



教育委員
古瀬公江さん

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の辞職に伴う次期候補者に、青柳はるみさん（新巻）を適任と認めました。

烏帽子山植林組合議会議員 補欠選挙

烏帽子山植林組合議会議員の補欠選挙を行い、指名推薦により以下の3名が当選しました。

片貝友久議員 山田明美議員 安済正美議員

町選挙管理委員会委員 および補充員の選挙

選挙管理委員会の委員・補充員が任期満了となるため、議長の指名推薦での選挙が行われました。

委 員

鈴木 久美子さん（新巻）
一之瀬さかえさん（原町）
片貝 徳行さん（矢倉）
加部 賢 さん（大戸）

補 充 員

荒木 博之さん（岩井）
高山 義夫さん（川戸）
塩谷 博史さん（新巻）
高橋 春彦さん（原町）

坂上小学校体育館 建設工事見直し

3月定例会で「坂上小学校体育館新設」を含む令和8年度当初予算が可決されましたが、様々な要素を総合的に検討し、体育館の新設整備は見直し補正予算案が提出されました。



坂上小学校体育館

令和3年度の現存率調査においてD評価
広範囲な劣化等が見られ、安全上・機能上
低下しているが、緊急な危険はない施設。

◆佐藤聡一 議員

3月議会に提案された坂上小学校体育館新設を可決した1人であった町長が、小学校再編に関する中間素案は示されたが、3カ月で中止の方針では整合性がない。新設肯定意見や反対意見もあったが、社会体育の場や防災拠点としての必要性を話すと理解してくれる人もいた。令和3年にこの体育館は、改修不適と判断された。屋根改修では根本的解決になっていない。地震や屋根・壁が落下し子供たちに事故ある場合、町は責任がとれるのか。議員であるとともに、建築士として建築基準法を

◆井上日出来 議員

坂上小学校屋内運動場新設は、財政難を訴える当町において合理性を欠く。予算規模は3億5000万円で、耐用年数は30年とされていた。しかし、3月25日に町総合教育会議で、令和11年度に坂上と岩島小学校が原町小学校に統合される計画素案が示された。体育館を新設しても、小学校として僅か3年程度しか使用しない。建設費、将来の維持管理費、最後には撤去費用で総額7億円、あるいはそれ以上の予算が必要となり、将来の財政に大きな負担を強いる。町は公共施設の、のべ床面積を40年で40%削減の方針を掲げてきた。そうした方針と照らし合わせても建替えは矛盾した行政判断と言わざるを得ない。斉藤町長がこの計画を見直

守らなければならない。改修不適と判定されたものを改修すること自体無駄で、問題ではないか。しかしこの体育館は、災害時避難場所、社会体育の場や地域住民のコミュニティーのよりどころである。20数年前、運動会が取りやめになったが、親善スポーツ大会を立ち上げ、22年以上続いている。グラウンドゴルフを中心に、雨の日は体育館で玉入れや輪投げが行われ、お年寄りや小中学生も参加し健康寿命を延ばしている。体育館がなくなれば継続は難しい。行事継続が難しくなる中で、コミュニティーをぜひ守ってほしい。町長も「千年続け東吾妻」を訴えて町長になったのではないか。以上の理由により判断し反対する。

し、修正案を決断されたことを高く評価する。より効果的、効率的で生徒の安全性を確保できる施策が実施されることを切に願う。

◆里見武男 議員

坂上小学校の体育館新築工事の中止に賛成する。令和8年3月、小学校再編中間素案が示され、複式学級をなくす小学校の統合スケジュール素案が示された。3年後には岩島・坂上小学校が原町小学校へ統合が予定されている。新築費用3億5000万円をかけての体育館新設は疑問である。学校開放の利用も、令和5年度1団体、令和6年度は0件。令和7年度2団体と利用度も低い。また、坂上小学校は避難所の指定を受けているが、公民館や坂小校舎及び他地区の避難所の利用も考えられる。坂上小体育館新築工事の中止に賛成する。

内容

町立学校給食センター敷地内において発生した事故に起因する相手方への損害賠償の額は、議会の議決を要することから、本会議で可決されました。

除草作業中の車両 ガラス破損による損害賠償

損害賠償の額 103,664円
賠償の相手方 (株)ジーエスエフ
社員所有車両

令和8年度補正予算を可決

会計名	補正額	予算総額
一般会計	▲2億9026万円	92億9873万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	▲648万円	6789万円
後期高齢者医療特別会計	95万円	3億2181万円
介護保険特別会計	52万円	18億8455万円

一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ2億9026万円を減額し、総額を92億9873万円としました。人事異動による人件費の補正のほか、農業経営力向上事業の実施に伴う補助金や、坂上小学校屋内運動場（体育館）事業見直しに伴う補正などが主なものです。また、防災費では町公式LINE気象情報自動連携機能運用利用料46万円、道の駅あがつま峡へ設置予定の防災倉庫や防災備蓄用品として発電機やLEDライトなどの購入費98万円を計上しました。

一般会計補正予算に対する質疑

質疑

- 問 佐藤聡一 議員** 3月に新年度予算を可決した。体育館新設中止は整合性がとれない。
- 答 町長** 様々な要素を総合的に検討し、新設は見直す結論に至った。町の将来を考えた中で必要な判断であったと考える。
- 問 佐藤聡一 議員** 屋根の改修だけでは根本的な解決にならない。事故が起こった時責任がとれるのか。
- 答 学校教育課長** 管理者として責任は町にある。日常的に点検し、異常があれば利用中止も含めて学校現場に指示を徹底していく。
- 問 佐藤聡一 議員** 坂上地区のコミュニティーの場にもなっている。

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、人事異動による人件費の補正に伴い、一般会計からの繰入金648万円の減額です。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、帳票印刷委託料として、一般会計からの繰入金95万円の増額です。

介護保険特別会計補正予算（第1号）は、負担限度額区分変更に伴うシステム改修業務委託料として52万円の増額です。

- 答 町長** 体育館とは別のところで地域の活性化・交流の場を考えていく。
- 問 竹淵博行 議員** 体育館の新設取りやめによる3億5000万円の減額は英断と評価する。学校統合については新聞報道により知ったが、議員に配慮が足りないのでは。
- 答 町長** 配慮が足りなかった。情報の取り扱いには気をつける。
- 問 渡 一美 議員** 児童数が減っている。今後の教育は。
- 答 教育長** できるだけ子どもの交流の場を設けていきたい。

補正予算を全会一致で可決

会計名	補正額	予算総額
一般会計	600万円	93億473万円

一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ600万円を増額し、総額を93億473万円としました。この補正予算は5月26日に東吾妻中学校体育館において天井材が落下し、落下防止ネット設置対応を緊急的に行うことが必要となったことによるものです。

質疑

- 問 竹淵博行 議員** ネット設置施工が再三とならないよう工夫してほしい。また、天井全体の調査は行うのか。
- 答 学校教育課長** 施工は天井全体の6分の1で、25ミリ四方のネットを設置予定。点検は現場状況や予算の中で落下物の性質や付着物を確認したうえで行っていきたい。



専決処分 2 件を承認

東吾妻町税条例の一部を改正する条例

個人住民税、固定資産税、および軽自動車税の環境性能割廃止など、地方税法等の一部改正に伴う改正。

東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税課税額に子ども・子育て納付金が加算されるなど、地方税法等の一部改正に伴う改正。

専決処分とは

地方自治法に基づき、予算や条例などを議会の議決を経ずに、町長が法規裁量で処分することで、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がない場合などに行われます。

条例改正 4 件全会一致で可決

東吾妻町地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例
→地域再生法の地方公共団体等を定める省令の改正に伴い、適用期限等に関する規定の一部を改正

東吾妻町町営住宅管理条例の一部を改正する条例
→上河原団地Ⅰの戸数を「13戸」から「11戸」に減らす改正

東吾妻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び東吾妻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
→児童福祉法の一部改正に伴い、満3歳以上限定小規模保育事業が創設されたほか、理学療法士等をみなし保育士化することができるよう位置づけるための改正

東吾妻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例
→4月より開始した通称「こども誰でも通園制度」の利用料金を1時間300円を超え30分までごとに150円を加算する料金体系とする改正

6 月定例会で全会一致により可決された議案

- 専決処分の承認…………… 2 件(税条例)

●人事案件…………… 2 件

●特別会計補正予算…………… 3 件
- 一般会計補正予算（第2号）

●条例改正…………… 4 件

●損害賠償の額の決定



意義あり！

賛否

の分かれた議案

議 案 名	議 員 名	出席者数	賛 成	反 対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議 決 日
						高橋 弘	成瀬 裕美	片貝 友久	山田 明美	安濟 正美	増子 京子	渡 一美	井上日出来	里見 武男	小林 光一	竹渕 博行	佐藤 聡一	
令和8年度東吾妻町一般会計補正予算（第1号）		12	9	2	可	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	6/11

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

令和 7 年度繰越明許費繰越計算書の報告

令和 8 年度に繰り越す事業

◇ 一般会計

事業名	金額
庁舎管理事業	2 0 0 万円
その他財産管理事業	4 8 2 万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金交付事業	4 5 7 万円
社会保障・税番号制度システム整備費	9 9 万円
物価高対応子育て応援手当支給事業	2 6 2 万円
物価高騰対策省エネ家電買い換え促進補助金	7 6 3 万円
農業者等支援事業	5 1 万円
県単小規模土地改良事業	9 2 8 万円
東吾妻町住宅新築改修等補助金	1 6 0 万円
東吾妻町中小企業者 S D G s 推進補助金	1 5 0 万円
物価高騰対策商品券給付事業	1 億 3 0 3 3 万円
町道Ⅱ 2 6 号線道路改良事業【大字金井地区】	1 5 7 4 万円
上信自動車道関連事業	4 6 3 0 万円
消防ポンプ車（第3分団第Ⅰ部入替）購入事業	3 3 0 0 万円
坂上小学校体育館新築工事関連事業	1 3 9 5 万円
東吾妻町中学校多機能トイレ新設及び相談室改修工事関連事業	1 6 3 6 万円
文化財保護事業	1 2 0 万円
岩櫃城跡保存整備事業	3 1 7 万円

◇ 地域開発事業特別会計

事業名	金額
施設管理事業	1 0 1 8 万円

◇ 水道事業会計

事業名	金額
（一）植栗・伊勢線電線共同溝工事等に伴う配水本管布設替工事	1 6 5 0 万円
大泉寺橋工事に伴う配水本管布設替工事	2 2 3 1 万円
町道Ⅱ 8 3 号線道路改良工事に伴う配水管布設替工事（Ⅰ期）【大字川戸地区】	1 6 5 0 万円
上信道工事に伴う配水支管布設替工事（山根Ⅳ期）	1 6 5 万円
上信道工事に伴う配水管布設替工事（寺沢工区Ⅰ期）	7 4 2 万円
上信道工事に伴う送水管布設替工事（下郷工区Ⅱ期）	2 4 4 2 万円
鳴瀬砂防事業に伴う配水管移設工事	1 2 2 1 万円

繰越明許費とは

年度内に支出を終えることが難しいと見込まれる歳出予算の経費について、あらかじめ議会の議決を得て、翌年度に繰り越して使用できる制度のことです。



常任委員会構成が決まりました

令和8年4月に行われた議会議員補欠選挙により、議員定数12名が揃いました。6月定例会において各常任委員が決まり、町の諸課題を調査研究していきます。

○総務建設常任委員会

委員長 井上日出来
副委員長 安済 正美
委員 成瀬 裕美 山田 明美
里見 武男 佐藤 聡一

○文教厚生常任委員会

委員長 渡 一美
副委員長 増子 京子
委員 高橋 弘 片貝 友久
小林 光一 竹淵 博行



6月 定例会

請願・陳情についての報告

No.	請願・陳情名	採択議会	担当課	処理状況
1	町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月第3回定例会	建設課	未決
2	日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情	令和元年9月第3回定例会	建設課	処理中
3	東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情	令和元年9月第3回定例会	学校教育課	処理中
4	町道5242号線（郷原古谷地内）改良の請願	令和2年6月第2回定例会	建設課	処理中
5	上之町区内の道路を拡幅して頂きたい請願（群馬原町駅から中央公民館付近）	令和6年9月第3回定例会	建設課	未決
6	町道長寿園線に関する請願（坂上本宿地内）	令和6年12月第4回定例会	建設課	未決

採択から10年以上経過した請願・陳情の処理経過は省略します



一般質問は
こちらから

町政を問う！

今定例会では議員4名が登壇

P10 里見 武男 議員

「町長の主な公約実現と町政運営の具体的方針」

P11 増子 京子 議員

「地域防災の確認や見直しを」

P12 佐藤 聡一 議員

「次期「総合計画」についての考え方は」

P13 井上日出来 議員

「町長が見る町の最重要課題は」

齋藤新町長に
聞く



一般質問とは

定例会において議員が行政全般にわたり町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、答弁を求めることです。一般質問は通告書に基づいて行われます。

町主催 新議員研修

(5月14日・15日)

各課が受け持つ業務内容、決算報告、実績報告、予算書の読み方からそこに盛り込まれている施策の実績や、現状の課題その対策に至るまでを知る機会になりました。今後の議員活動のうで生かしていけるものでした。



絵画を寄贈いただきました

郷原在住の山崎孝利さんより議長室へ絵画を寄贈いただきました。



山崎さん

高橋議長

一般質問

さとみ たけお
里見 武男 議員

問 齋藤町長の公約実現に向け積極的に町民の声を聞き、町の活性化を実現するために具体的な町の変革や挑戦を伺う。

町長 町民の皆さまの懐に飛び込み、生の声を伺い町が取り組んでいることや今後取り組もうとしていることを丁寧にお伝えすること、そして多様な意見を町政に反映していくことが、まちづくりの原点であると考えている。

こうした考えから町民と町長の懇談会「東吾妻ときめき町民会議」として8月に開

Question

町長の主な公約実現と町政運営の具体的方針

Answer

「東吾妻ときめき会議」を開催

催を予定しております。町民みなさんの町政への疑問・ご意見を聴き私の町政への思いを聞いてもらう企画です。また「住みたい町」「帰ってきたい町」「訪れたい町」の実現に向け、変革を恐れず、新しい挑戦を積み重ねていく。

問 令和の関所づくりとして上信道の植栗中之条インター付近に道の駅の設置計画について規模や内容について伺う。

町長 上信道インターという新たな交通基盤を最大限活用し、大戸関所がそうで

あったように、人、モノ、情報、文化などが交流し、地域経済が循環する拠点づくりを目指すもの。具体的には地域の農産物や特産品の販売機能、観光情報の発信機能、地域住民の利便性向上につながる機能に加え、災害時の防災拠点機能等含め、本町の将来に必要な役割について検討していく。又、規模の大きさではなく、「選ばれる施設」そのものを考えたい。

問 東吾妻町第2次総合計画の実施計画では齋藤新町長マニフェストを組み込んだ総合計画を速やかに修正や見直しが必要と思うが。

町長 第2次総合計画は令和9年度末をもって計画期間が終了することから、第3次総合計画の策定に向け本年度より準備を進めていく。私はこの策定計画を単なる計画期間の更新とは考えていない。「町の生存をかけた命の計画書」「町民に向け必ず結果を出していかなければならないマニフェスト」だと思っている。

植栗中之条インター
付近の工事状況

Question

地域防災の確認や見直しを

Answer

地域の実情に応じた備えを
平時から進めていく

問 近年、災害の激甚化が進む中、群馬県も12年ぶりに群馬県地震被害想定調査が行われ、東吾妻町では令和8年度地域防災計画改定事業が拡充された。その内容の確認と今までの地域防災の見直しのためにも2点お聞きしたい。①今後の学校での防災教育について②防災意識の高い町とするためには（防災図上訓練の取り組みや災害拠点病院である原町日赤に配備されているDMATとの共同訓練など）

町長 ①について町でも学校とも連携して体験型の防災学習に取り組んできた。今後も体験を重視した防災教育を進め、児童生徒だけで完結するものでなく家庭や地域全体の防災意識向上につながる取り組みを進めていきたい。②について防災図上訓練は災害時の情報収集、避難判断、避難所開設、関係機関との連携などを確認するうえで有効な訓練であるため実践的な訓練の継続につなげてまいりたい。昨年実施し



ふるさと祭りの防災ブース

DMAT(Disaster Medical Assistance Team)とは

日本語では災害派遣医療チーム。専門的な訓練を受けた医療従事者が迅速に駆けつけ、救急医療や搬送活動を行う医療チームを指します。

ましこきょうこ
増子 京子 議員

た原町赤十字病院との災害対応訓練を通じて実践的な対応力の向上を目指し、今後はDMATとも災害時に円滑な連携が図れるよう努めてまいりたい。

問 毎年ふるさと祭りの防災ブースでは防災グッズや防災用テントの展示、アルファ米を使った非常食の試食、ドローンの操縦など行なっている。目で見て体験できる防災としても素晴らしい取り組みである。今後、町民一人一人が、防災の主体者として意識をしていくような全員参加型の取り組みが大事かと思うが。

町長 ふるさと祭りの防災ブースにおいても、全員参加型の防災ブースとなるよう検討していきたい。



一般質問



Question

次期「総合計画」
についての考え方は

Answer

「町の生存計画」「町民の皆様
に約束するマニフェスト」

問 吾妻郡町村議会議員研修会で、講師が示した吾妻郡の町村の人口予測において、東吾妻町の人口が2025年1万1157人、2035年8648人、2025年対比で77.5%、2045年には6295人、2025年対比で56.4%と半減し、吾妻郡の他町村の中で一番減少率が高い。また、この時点で嬭恋村6547人より少なくなる。今後10年後、20年後税収の大きな落ち込みなど考えられる。さらに、2050年には56.2%と町全体のおよそ6割近くが65歳以上の高齢者になるが、どのようにとらえているか。

町長 人口減少に伴う税収

減少、インフラ維持、高齢化、産業の衰退、上信開通後のストロー効果などの課題を重く受け止める。第3次総合計画を「町の生存計画」「町民の皆様にも必ず結果を出していくことを約束するマニフェスト」と位置づける。

問 第2次総合計画後期計画で示している5項目①原町赤十字病院との連携プロジェクトの推進②スポーツ活動を通じた健康づくりの計画的な推進③持続可能な公共交通ネットワークの再構築と交通結節点の整備④買い物弱者対策など買い物環境確保のための体制の整備⑤脱炭素・循環型社会の構

築をもう一度ブラッシュアップしては。

町長 地方でも希望を持てる町づくりの柱が「中山間地でも不自由なく暮らせるライフデザイン」と「経済を循環させる都市デザイン」である。①～⑤を実現するための強固な財政基盤づくりのため、国・県の補助制度、ふるさと納税の強化、企業版ふるさと納税、クラウドファンディング型ふるさと納税を進めたい。「住み続けたい町」「帰ってきたい町」「訪れたい町」「応援したい町」を実現、千年続く東吾妻町の実現を目指す。



町の総合計画



一般質問

Question

町長が見る町の最重要課題は？

Answer

持続可能な自治体モデルの創出



問 就任間もないが、町長が気づいた最重要課題やその取り組みについてお聞きしたい。

町長 将来にわたり持続可能な自治体モデルを創出することが最大の課題。テーマは2点で①「中山間地域でも不自由なく暮らせるライフデザイン」と②「経済を循環させる都市デザイン」の実現である。①は人口減少が顕著な坂上地区を町の未来を映す鏡と捉え、交通、医療、福祉、買い物環境、一般廃棄物処理施設建設などの諸課題に取り組む。また②については、上信道による交通環境の改善というチャンスを活かし地域経済を躍動

させ、中心部では医療・福祉のまちづくりを進める。町を持続させるための好循環を生み出したい。

問 新たにに取り組む事業の予算や、税収を増やすための取り組みは？

町長 国・県の制度活用とクラウドファンディング型ふるさと納税など取り組みたい。雇用創出や企業活動の活性化、移住定住促進などで地域経済を活性化して税収基盤を強化していく。

今年度の防災への取り組み

問 今年度の防災施策は？ また、町内各地区の自主避難

計画作成や原町赤十字病院との合同防災訓練に町内防災士との協力体制を作ってはどうか。

町長 防災体制強化として地域防災計画の改定や各種初動対応マニュアルを作成する。また、防災備蓄品の拠点を道の駅にも拡充する。また、町の防災士ネットワークを設立し、地域で防災に関わる人材がつながり、協力できる体制づくりを進めていく。

時代に即した自治体組織の強化を

問 総務省「地域活性化起業人制度」を活用し、庁内でデジタル人材とプロジェクトマネージャー（※）の育成をしてはどうか。

町長 庁内でのデジタル人材確保と職員の育成は重要と捉えている。制度活用も含め、町の実情に即した体制整備を進める。

※「プロジェクトマネージャー」とは、事業の企画立案、予算管理、人員配置、期限や品質管理などを統括する役割を担う。



常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

総務建設常任委員会

はじめての就農ガイド



今年度から担当各課連携による 新たな事業の展開

新たに当選された新人議員3名を当委員会に迎え、2日間に渡り所管事務調査を行いました。移住+就農の体験事業や防災施策などについて、担当各課から説明を受け、各委員から活発な質疑が行われました。

今回の委員会 /

注目3事業!!



移住・就農体験会の実施

移住や就農を検討している人に対し、町のお試し体験住宅に宿泊してもらい、農業体験会を実施。委員からは、参加者の希望に添えるよう柔軟な事業にするべきなどの意見が出ました。

道の駅に防災倉庫設置

道の駅あがつま峡に防災倉庫を設置。LED照明や発電機など備え、備蓄拠点の強化を図ります。また、町の公式LINEに気象情報連携機能を追加し、災害に備える体制を整備します。

空き家相談サイトと連携

町の空き家バンクを民間の全国版空き家相談サイト「アキソル」に登録。町内空き家のPRを拡大しました。当該サイトは自治体の負担なく告知できます。

文教厚生常任委員会

学校教育、地域医療、福祉行政などを審議

文教厚生常任委員会では、学校教育、地域医療および福祉行政について所管事務調査を行いました。

特に社会福祉協議会が運営するいわびつ荘については、収支の改善が進み、黒字化が図られているとの報告を受けました。



「おひさま」がスタート

坂上小学校体育館

体育館の新築工事を見直し、既存施設の改修を行います。主に屋根周りを中心に、雨漏りによる劣化・浸食を防ぐ改修を行っています。

坂上地区の医療体制

地域医療を守るため、これまでと全く同じ形態での継続は難しいことから、今後のあり方について模索しながら進めていく考えが示されました。

子育て相談サポートスペース「おひさま」

6月から新たにスタートしました。保育士や不登校支援カウンセラーを配置し、子育てや不登校などの悩みに寄り添う相談支援や居場所づくりに取り組んでいます。

今回の委員会 / 注目3事業!!



特別委員会 その他の活動

～予算決算特別委員会～

予算決算特別委員会では今後の委員会の進め方について協議しました。その調査研究が必要な事項があった時に全員で対応し、視察や調査研究を行うこととなりました。また議員1人1人のスキルアップを図るため、外部講師による予算・決算の研修会を実施する方向で決定しました。



～議会運営委員会～

今年度の議会報告会は、10月31日にコンベンションホールで昨年度と同様に開催の予定です。

中学生議会は、11月18日に昨年度と同様で行うことで進めています。

福島県棚倉町議会より視察の受け入れ願いがありました。10月22日に議長・副議長、議会運営委員会で対応いたします。視察内容は「議会改革について」です。



現在進行中の課題を協議 〈議員全員協議会〉

定例会中の議員全員協議会で協議された内容は以下のとおりです。

- (1)遊休資産利活用事業の進捗状況について
- (2)指定管理者制度の適用施設に係る候補者選定の事務手続きについて
- (3)吾妻郡一般廃棄物処理施設の現状について
- (4)簡易水道事業の予算繰越について
- (5)東吾妻町立小学校再編に関する方針について
- (6)東吾妻町における「湯けむり国スポぐんま」開催概要について

議会報告会開催のお知らせ

令和8年10月31日(土)
コンベンションホールにて
開催予定です

お誘い合わせのうえお出かけください。今後、町広報やホームページなどで詳細をお知らせいたします。



昨年の議会報告会の様子

まちの声

Voice of the town



「シニア世代としての 生き方と地域貢献」



剣持 明さん（岩井）



私の過去を振り返れば、高校卒業後地元の会社へ就職、4年後に前橋の会社へ転職、40歳半ばで脱サラして父から受け継いだ会社経営に62歳まで携わりました。なぜ62歳で仕事にピリオドを打ったかといいますと、それには2つ理由がありました。1つ目は父が病に伏せ介護が必要になったことです。2つ目は自分の残りの人生を悔いのないものにしたい思いが強かったことです。人生は長いようで短いものです。第2の人生を健康寿命の中で、行ってみたい場所へ自分で車を運転して旅に行く事と、家庭菜園での果樹栽培をする事です。前者は、年々歳老いて車の長距離運転が困難になる為、行動出来るうちに妻と行ったことのない国内を旅する事です。後者は、前々からやってみたかった果樹栽培、魅力は綺麗な花を観賞でき、その後の果実をおいしく堪能でき2度楽しめることです。これについては既に5年位前からリンゴと桃とぶどう等の苗木を植えていて少しずつ実をつけています。素人栽培で、満足した物は出来ませんが楽しみながら励んでいます。

さて、私たちの年代になるとこれからの人生をどう過ごしていくかと同時に老後の事も考えてしまいます。シニア世代の生きざまを考えるうえで、子育て・住宅建築を無我夢中で働いてきた現役時代も過ぎ、子供達も独立した中で悔

いのないシニア人生を有意義に過せれば幸福ではないでしょうか。それと同時にこれからの生き方を考える中で地域との関係も重要と考えます。私は50代前半で地元、岩井区の区長（太田地区区長兼務）をさせていただきました。自分の仕事と区長職の両立は正直少しきつい面がありましたが、若さと区民と地元町議、及び岩井区役員の方々の支援と協力のおかげで何とか役を全うすることが出来て皆様に感謝しかありません。地区行政は区民との連携、人と人の繋がりが重要でそれが信頼感を生み行政活動に反映できるのだと実感しました。

最後に岩井区で行っている社会活動（特に環境美化活動）で良いことだと思う事を少しお話します。それは岩井上河原地区の桜並木関係で、現在も区民を挙げて周辺の草刈り（環境美化奉仕作業）を年3回実施しています。これは、以前に心ない方が家庭ごみを大量に河川敷土手に不法投棄したことが発端です。対策として桜を植えて環境整備することで不法投棄が無くなるよう当時の区役員の方々が尽力してくれた事です。今では地元のボランティア団体の協力で桜の保守整備や彼岸花の増殖育成、水仙管理を行っていて町の協力もあり東吾妻町の観光名所として多くの方々がその季節に来場し賑わっています。

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は9月3日開会予定

9月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3 ← 本会議	4 本会議	5
6	7	8	9	10	11	12
	常委	常委	特委	特委	全協 特委	
13	14	15	16 →	17	18	19
	休会	本会議	本会議			

* 予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編 | 集 | 後 | 記

いよいよ夏本番の季節が到来しました。町民の皆さまに於かれましては体調に十分注意しながら、夏本番を乗り越えていただきたいと思います。

今議会は齋藤新町長が誕生し、また補欠選挙で4名の新議員を含めた12名の議員による初めての定例会となりました。議会広報特別委員会では2名の新議員が仲間入りし、7名での委員会構成となりました。齋藤新町長には、町民が住みやすい町づくりをモットーに行財政改革や公約実現に期待いたします。

今後も議会に関する様々な情報等を掲載し、町民の皆さまが読みやすく親しみやすい「議会だより」を目指します。

（里見 武男）



議会広報特別委員会

- | | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 里見 武男 | 副委員長 | 竹淵 博行 |
| 委員 | 成瀬 裕美 | 委員 | 山田 明美 |
| 委員 | 増子 京子 | 委員 | 井上日出来 |
| 委員 | 小林 光一 | | |

